

## 船舶インシデント調査報告書

平成27年5月21日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄司邦昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根本美奈

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成26年12月5日 11時00分ごろ
発生場所	宮城県松島町伊勢島、小町島西方沖 塩釜漁港東防波堤灯台から真方位023° 1.8海里付近 （概位 北緯38° 21.05′ 東経141° 03.97′）
インシデント調査の経過	平成27年1月9日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	旅客船 マリンエース、18トン 280-17470宮城、松島島巡り観光船企業組合 11.98m (Lr) × 4.13m × 1.73m、FRP ディーゼル機関、470.72kW、昭和58年12月
乗組員等に関する情報	船長 男性 52歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和63年4月22日 免許証交付日 平成26年12月3日 （平成31年12月19日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	なし
インシデントの経過	本船は、船長及び乗組員1人が乗り組み、旅客33人を宮城県仙台塩釜港塩釜区で下船させた後、宮城県松島港に向けて伊勢島、小町島西方沖を北北東進中、平成26年12月5日11時00分ごろ主機が異常音を発した。 船長は、回転数が低下するので主機を停止したが、伊勢島、小町島が近く、また、西方からの風が吹いていて、流されてしまうおそれがあると思い、投錨した。 本船は、船長が、機関室に入って主機の点検を行ったが、外観では異状を認めず、船舶所有者の担当者に連絡し、僚船にえい航されて松島港に入港した。 主機は、修理業者が開放点検した結果、4番シリンダのピストンスカート部に割損が発見された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 1、視界 良好

	海象：海上 平穩
その他の事項	<p>主機は、過給機付4サイクル6シリンダのディーゼル機関であり、船首側から順にシリンダ番号が付けられていた。</p> <p>本船は、約5年前に中古で購入され、購入時の機関の整備記録、総運転時間等は不明であったが、主機の運転に異状がなかったので、開放整備等が行われていなかった。</p> <p>主機は、購入後の運転時間が本インシデント発生時で約5,277時間であり、潤滑油が、約200～300時間ごとに取り替えられており、取替え後の運転時間が約260時間であった。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし <p>本船は、伊勢島、小町島西方沖を北北東進中、主機の4番シリンダのピストンスカート部が割損したことから、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>主機は、潤滑油が定期的に取り替えられていたものの、開放整備時期が不明で点検が行われておらず、経年使用によりピストンスカート部の割損に至った可能性があると考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本インシデントは、本船が、伊勢島、小町島西方沖を北北東進中、主機の4番シリンダのピストンスカート部が割損したため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主機を定期的には開放し、各部の点検、不良部品の交換等を行うこと。</li> </ul>